

研修専門課程第34期 (平成26年1月28日~2月7日)

課目名	職場研修 (OJT) と職場外研修 (Off-JT)
時限数	2時限
担当講師	<p>(有)現代経営教育センター代表取締役 大塚 則弘 <プロフィール> 昭和43年 明治大学 商学部 卒業 同年 日本通運株式会社入社。 昭和46年 財団法人 日本生産性本部に転じ、セミナー・企業内教育・欧米視察団派遣を担当。その後 研修課長・総務課長を歴任。 昭和63年 コンサルタント会社に主席コンサルタントとして招かれ、リピートオーダーNo. 1の実績を上げる。 平成4年 現代経営教育センターを設立し、現在に至る。</p>
ねらい	<p>職場研修 (OJT) と職場外研修 (Off-JT) それぞれの重要性や特徴について理解を深めることをねらいとしている。OJT と Off-JT を適切に組み合わせ、研修を効果的に進める方法について考える。</p>
講義概要	<p>研修面からの「人材育成の三要素」を、①OJT (職場研修)、②Off-JT (集合研修)、③自己啓発 (通信教育…) ととらえ、互いの良さを組み合わせて、省力化が一層進む現職場での仕事の進め方を共に考える。</p> <p>(1) とかく現場上司にお任せ観の多いOJTを成功させるには、まずOff-JT (集合研修) で、“OJTは自分 (上司) にとって得だ”を教える。</p> <p>(2) 部下指導といってもよいOJTのコツは“まかせて・見てて・ほめる”に尽きると論ず。 実際例として成功しやすい「新採職員向けのOJTリーダー制」を取り上げ、現行がうまくいっていないとしたら何故なのか、チェックポイントを伝授する。</p> <p>(3) 前例踏襲の現行のOff-JT (集合研修) では人は育たない。 「必要な人に、必要な時、必要な分だけの研修を！」と研修担当者に、①心構え、②事前準備、③事後評価の三面から、意識改革を迫る。</p>
受講上の留意点	<p>「聞くは一時の恥、聞かぬは末代の恥」とは、古来からの名言。質問することは他者への啓発にもなり、質問は大歓迎。本講座の受講者は例年、研修経験の浅い人が多く (浅いから受講する)、わからないことが多いのは当然。ひとりで悩まず、みんなと一緒に考えよう。</p>
使用教材	
効果測定	<p>何事にも、「効果測定」は大事なこと。本講座の効果測定は、受講後の各自の胸に去来する“インパクト”そのものでしょう。</p>
その他 (他の課目との関連)	